

電気式コーン貫入試験(多成分コーン貫入試験)

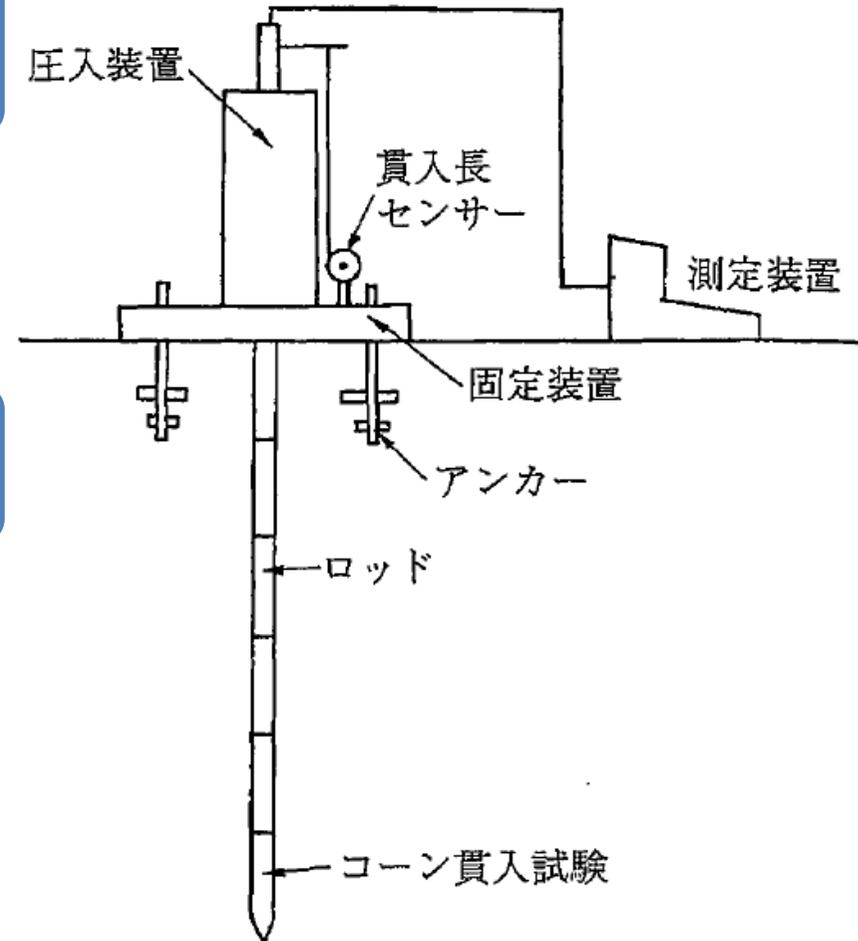
目的と概要

目的

- 原位置地盤の、コーン貫入抵抗、周面摩擦、間隙水圧を把握する

概要

- コーン先端部にロードセルや水圧計を用いた三成分貫入試験器を、地盤内に一定速度で貫入し、原位置で多くの地盤特性を連続的に把握する



電気式コーン貫入試験 注意事項

機材の故障

- 部品の間隙部に細かい土砂が入り込むと故障の原因になる
- 試験実施前に、コーン貫入試験器内部のグリス塗布やこまめな清掃・整備が必要

点検項目

- コーン清掃やケーブル損傷、劣化の確認
- 電気的な作動、絶縁抵抗などの確認
- 押込み期の油漏れや異常音

コーンの傾斜と曲り

- 曲がった状態で貫入を行うと、データの信頼性の低下、試験器の損傷に繋がる
- 使用に当たっては、傾斜の許容値を定めて運用する(5°程度で破損することあり)

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成